火を吐く熱辯

製鐵所罷業事件に關し報告演説會福岡に開催

過般來八幡製鐵所に於て勃發したる勞働爭議に關する報告大演説會は友愛會、勞友會、礦夫協會合同主催の下に十四日午後六時半より福岡市中洲[illegible]なる舞鶴座に於て開催先づ友愛會の福岡文六氏登壇開會の辭を述べ勞友會の藤田綾[illegible]平安部品藏の諸氏相繼いで壇上の人となり何れも熱誠なる口調にて事件の眞相に就き縷々陳述する處あり特に時間及賃銀制の不合理にして非文明的なるを指摘し大いに製鐵所の横暴を訴え聽衆をして同情の念に絶ざらしめた次いで坑夫協會の河島眞二氏「資本家を轉嫁する者へ」との題下に火を吐くが如き論鋒を製鐵所首腦に向け完膚無き迄に痛罵するや場内愈活氣を帶び聽衆漸く熱狂し來る該事件の爲め西下したる友愛會の福岡文六、勞友會の加藤勘十の兩氏は何れも流暢なる辯舌を揮ふ前者は「白仁長官誠意ありや」の題下に友愛會より選拔されて調停交渉委員たりし立場より製鐵所の最高幹部[illegible]し後者は「勞友會の立[illegible]に就て」の題下に勞働運動の發達を歷史的に叙述し勞働者團結の必要を力説して掉尾の偉觀を添え九時半頃散會熱心なる聽衆多くして頗る緊張せる會合であつた

議會に持出す

勞友會、友愛會、鑛夫協會の首腦者上京す

工が[illegible]室で騒いでゐると直ぐ憲兵が彈丸を裝塡して押寄せて來るといふ始末で仕事の指圖も職工より[illegible]く巡査がしてゐます勞友會の幹部は一時殆ど全部檢束されて途方に暮れてゐた事もあつたが友愛會其他で演説會を開いた結果漸く七名[illegible]

[illegible]に關し勞友、友愛[illegible]首腦者は最早此[illegible]は議會を動かす[illegible]友愛會よりは九[illegible]疑吉、藤田俊次[illegible]

[illegible]も有せないのである。

◇

一九一三年に於ける英米佛諸國に於ける革命的大罷業は多くの人々をして革命的サンヂカリズムに[illegible]する楽觀評論を出さしめた。けれ共同盟罷業の當事者たる勞働者[illegible]

それは[illegible]スタートの第一[illegible]ぎぬであらう、自ら嚙ける鎖りを[illegible]に斷ち切つて、ジャイアンステップを以て濶歩する時其[illegible]完き[illegible]を有する事を知らねばならぬ、勞働者は先づ[illegible]事業と[illegible]に省みて[illegible]

モット或る特殊の白熱せる[illegible]を以て、同盟罷業の運命如何が[illegible]に[illegible]て居るからだ。

◇[illegible]の運命は、三派協調さ[illegible]の關係を有して居る。三派[illegible]の協調を得ても、[illegible]